（一）　第三百四十七號　（水曜日）　明治四十三年三月二日　（日刊）（毎月曜日及大祭日の翌日休刊）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久紳一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

京城居留民團公文

京城居留民團告示第一號

京城居留民團區域内ニ居住スル者ニシテ明治三十六年四月ヨリ明治三十七年四月一日ニ至ル間ニ出產シタル兒童ハ來ル四月一日就學ノ始期ニ達スヘキニ付該兒童ノ保護者ハ三月二十日迄ニ入學證ニ戶籍謄本ヲ添ヘ當民團役所ニ提出スヘシ

明治四十三年二月十九日

京城居留民團民長　古城管堂

論說

東亞政策に對する米國人の曲解（下）

在仁川　山下南海

素より我國商業上の進步は獨り沿岸貿易に於てのみならず、累年對清通商の發達は歐米列國の刮目する所なりと雖も、這は所謂東亞貿易に對する地理的要衝の地點に國するの然らしむると、一は此地點を利用して東亞貿易の覇權を掌握せんとする我國民的工思想發展の結果たるとに在りて、彼の米國人の猜忌するが如きに非ざる事は事情に通ずる者の一切に認むる所なり、我帝國は帝國自衞の目的たるに過ぎずして然するに非ざれば遂に或は北方の强を制する難く世界の爲に滿州を開放し極東の平和を保障する能はざればなり、彼の日英日佛日露の同盟並に協商は締結の主因實に支那帝國の保全獨立を保障するに在り、我帝國が宛もヒユーマニチーの權化たるかの如く誠心誠意淸國に對して友誼を表情しつゝあるは、事情を解せざる幾多の誤解否な疾視を米國民に招きたる所以にして、若しも米國民が虛心平氣に我の東亞政策を觀察するならんにはクレーン氏の如き不謹愼なる言動をなす者ノックス氏の如き向ふ見ずの提議をなす者なかるべく、米國民の必らずや雲霧を排して光明を見るは謂ふ迄もなき事に屬す、然れども其商業上の競爭に到ては我れ亦た出來得る限りの方法手段を採擇して輸贏を決せん事を期せり、歷史は過去のレコードなり、苟くも東亞貿易の餘瀝に依りて方今の富强を致せる邦國は其英國たると佛國たると獨逸たるとを問はず、列强互に覇權を爭ひつゝあるは則ち現今の狀態にして我帝國のみ獨り商業的利權の獲得を策する者に非ず、然るを何ぞや我國に對する米國民の疾視は誤解と爲り曲解と變じ、意外にも我國民を以て帝國主義の實行者なりと憶測し兎角の論評を敢てするが如きは大國民の襟度として恥づる所非ざるなき乎、布哇排斥實の防備を嚴にし以て艦隊の集中をして遺憾なきを期するは日本國民の野心を挫折せしむべき手段方法なりとは米國民多數の感想なり、日本移住民排斥問題の如き幾多の原因なきに非すと雖も、帝國の膨脹が渠等國民をして一種不可解の疑問を結ばしめ無意味極まる惡感情を誘發せしめたる亦た其原因の一として數ふ可きなり吾人は平和の戰爭則ち通商貿易に依りて國運の隆昌を庶幾せんとする者、米國民の我に對する誤解は寧ろ曲解の甚だしきものにして虛心平氣に我帝國の國情民益を窺知するならんには疑團忽ち氷解して亦た黃禍患を唱ふるが如き事なきに到らん（完）

雜報

●日本對韓策露人觀

日露戰爭前より日本の事情を研究し目下專ら朝鮮の形勢を觀望せる某露國人が住訪の新聞記者に日本の對韓策に就き語りたる所に據るに日本の對韓政略は頗る巧妙を極め合邦論の如き固より當局者の夢想せざる所なり是れ朝鮮を公然日本に合併したらんには朝鮮人の代議士をも日本の帝國議會に列席せしめざるべからざるに依るなり日本人は今や事實上朝鮮を占領して一定の目的を立て他より妨碍せらるゝ所なく之を遂行しつゝあり日本人は鋭意朝鮮に殖民し成るべく朝鮮人民と激烈なる衝突の起るを避けんとす哈爾賓の慘劇も決して日本政府の對韓政策を變するが如きことなかるべく兒嵩安が政客上終身禁錮に處せらるべしと思はる云々と云へりとぞ

●商民と紛擾の首魁

過般紛擾のありたる順川の商民等は市場稅の徵收に付き唯日本人官吏の俸給を支給する目的に出するものとし速かに之れを廢止せんことを望み居れるが多額の稅金にあらざるを以て之が爲め暴動を起すの要なきを知りたるも首魁崔鳳煥、羅學淳等が商民を煽動して大騷動を起さしめ年末に際し市場を閉鎖せざる可からざるに至り爲めに物資の供給及び金融を杜絕せしめたるは實に不都合なり就中商民に貸金せる資產家は騷動の爲めに商民逃走して貸金を回收する能はざると商家の家族等は戶主逋走の爲め買掛け代金の取弱をなす能はず遂ひに糊口に窮するに至り首魁等を怨むこと甚しと云ふ

●市場稅と太田邦人

日本人に對する市場稅の賦課に就ては各道廳して良成廳の由なるが獨り太田市場に居住する日本人は未だ市場稅を納付せず其いふ所に依れば該幣が販賣する商品中石油、金巾、明太魚の如きは一箇月數千圓の取引あるも其利益甚だ少なく到底賣上高百分一の徵稅に應ずること能はずとて其稅率の變更を請願し若し容れられざるに於ては市場區域より日本商人市街地を除外し以て徵稅を免れんとするにあるが如しといふ

●孫秉熙間島行は虛

春園天道敎々主孫秉熙は馬山浦に於て朴泳孝と密會し夫れより韓船に乘して滿洲を經て北間島に入れりと傳ふるものあるも右は全くの虛傳にて孫秉熙の南下するや種々の風評を起したるも全く天道敎總務梁漢默が李在明の兇行數陵者として警視廳に召喚され次で地方裁判所に送致されたるより孫は内心當地に在るを嫌ひ東學黨と關聯して名ある慶尙南道の通度寺に避けたるものにて今尙同寺に留まり居れり而して朴泳孝は表面政治を忘れたるもの〻如く努めて政客の來訪を避け居りて孫秉熙と會見したる如きは絕對に之れなしと

●順川郡の郡衙書類

順川郡の市場稅に關する暴動にて郡衙の書類全部燒失したれば民間にて同郡衙と文書の交涉をなし未了のまゝの者は此際改めて文書を差出すべしと

●貨物包裝の研究會

關稅局に於ては今般輸出入貨物の包裝に就き研究會を開く筈なるが元來貨物の包裝に關する研究は日本に於ても十數年以前より横濱稅關に於て開始し今日にては長足の進步を爲し居る由にて此包裝なるものは好拙の如何に依りて商品の破損、運賃の多寡、販賣の方法等に關係せる重大問題なれば大に研究を要すべきものなりと

日本銘刀傳

第五十六席　邑井一講演

太「さやう　主「何う云ふ望みで……ヤ始めて過つて斯やうなことをそれ尋ね申すも異なことだが、旅は道連れ世は情けとか申して、此の一つ茶屋にれ話しを致すと云ふのも、何かの緣でございませう　太「さやう……シテ貴方の何方の御方で　主「拙者は備前の者だ　太「へ、エ何の邊へれ越しになります　主「實は拙者も相州へ志す者　太「アーさやうでござるか……シテ鎌倉へは何御用で　主「や外ではござらん、此のほど相州鎌倉雪の下に五郎正宗と云ふ名刀鍛冶の後を引受けられた彥四郎貞宗と云ふ人もう餘程年を老られた此のれ方の存命中、直々頼んで一振打ち上げてれ貰ひ申したいと云ふ考へ　太「ハヽア然らば態々相州までれ出になりまして彥四郎貞宗に　主「然やう此彥四郎貞宗は江州の江の木と云ふ所に居て、江の木貞宗と人呼んだ豪い腕前であつたが、五郎正宗を慕ふて遂には火加減、湯加減の傳授を讓り受けて、當時鎌倉に住居して天晴日本の名刀鍛冶で、只今此の方は主持ちの身の上であるから、主人より致して旅費を賜はり、汝參つて以前は懇意なるゆゑ、貞宗に頼み是非打ち上げて來よと、仰せを蒙つた、夫れゆゑ參るものだ　太「ハヽア扨ては貴方は備前の御領主樣の御家來でございまするか　主「以前江州に居つた頃、懇意に致した、夫れゆゑに罷り越すものだ　太「然やうでござるか　主「貴方も鎌倉へ行かれるなら、同道して行かれては何うだ　太「イヤ夫れは結構なことででござれど、私は他に少と見物を致して、記憶致したきこともあるから、れ先きへ御免を蒙る　主「然やうならば御隨意」と其人物に此方で聞いたわけやないが、先方から話しをする、そこで太郎が茶代を拂つて茶店を出ながら考へた、京都の稻荷山へ參詣をしたどき、神靈の告げを以て鎌倉へ行くべしと仰せがあつたが、只今彼の老人のれ話を承はるに、貞宗に直々遇つて刀を打つて貰ひたいと云ふ程ぞ、今日本中に聞ねたる貞宗、好し夫れでは鎌倉に乘込んで、此の貞宗の許に足を留めて修業致さうと云ふ、是れ神の導き給ふところなるべしと、そこで何ほ泊を重ねまして、相州鎌倉へ乘込んで來る[illegible]の下へ來て貞宗の住居を見ると誠に奧ゆかしく門を構へ、草葺屋根ではございますが、一方を見れば井戶があり、井戶には注連が張つてある、此方の方を見ると玄關構へ、中の樣子を見ると只今仕事に掛つて居るものと見ねて、槌音が聞ねる、太郎腕を組んで其打込む槌音を聞いて感心した、流石は營左衞門村正の一子能く槌音を聞き分けて居ります、何んとなく裕に打込まれる、小さい窓があるから、其の窓から覗いて見ると、燒上げたのを十二陰陽二十五音に地の三十六氣で金を延ばして、天の二十八宿で打固める上槌に至りますと、木火金水、天地人、應仁天皇、八幡大神、鹿島、香取、持國增長廣目多門、天下泰平五穀成就トントーンとあがる、愈々感心して　太「アー實に豪い、如何にも恐れ入つたわけのものだ、打込む槌のうちに狂ひと云ふものがない、恐れ入つたと感服致しました、もう仕事が終ひになるぞ、一人仕事場から出た來たものがある　太「御免ん下さい　甲「ハイ　太「貞宗さんはれ宅でございませうか　甲「ハイ居られます　太「何うかれ目通りを致したい、私は伊勢の名士から參つた太郎と申すもの　甲「少しれ待ちなさい」と其の男が中へ通入つて貞宗に取次を致します、是れから太郎は貞宗に面會致しましてれ弟子になり貞宗の教授を受けて、遂には有名なる刀鍛冶となるのであります。

○新刊紹介

▲統監府通信事業第三季報　明治四十一年度に於ける通信事業及び韓國郵便取扱所付きの地圖まで附されあり（統監府通信管理局發行）

▲商標公報（第十一號）　統監府特許局

▲警察月報（第十八號）　韓國刑法中一部改正されたる者記載しあり　警視廳

▲韓國鐵道運輸（第十四號）　赤軒生の韓國鐵道の經營を論ずは一寸面白し（龍山鐵道運輸合會發行）

▲書畵骨董世界（第四號）（東京府下豐多摩郡淀橋町柏木書畵骨董世界社）

▲名古屋通俗圖書館報（第十二號）（名古屋市中區南大津町名古屋通俗圖書館）

東京電報

▲外相公使招待

小村外相は明二日午後六時西班牙、葡萄牙兩公使を官邸に招待し晩餐會を催よすべし(同上)

▲純民黨設立説

片岡直溫、島田三郎、河野廣中氏等は純民黨を設立せんとて同志者勸說の結果贊成者多數ある近々設立を見るべし

▲智國軍艦差遣

アルゼンチン共和國建國百年祭並に日英博覽會に參列する軍艦は多分生駒に決すべく帝國代表者は智利國公使日置益氏にして我が海軍代表者は軍艦生駒艦長なり尚ほ生駒出發の際貴衆兩院議員中より五名宛便乘を許す筈なりと(一日)

▲韓國問題と我政界

韓國問題解決に就ては韓人間に格別の動搖を生ずることなかるべしと政界にては觀測し居れり(同上)

▲又々政友會の妥協

政友會の鹽田整理案否決、營業稅法案修正に對し桂首相は同會幹部に會見を申込みたるが多分妥協に終るならんと觀測さる(同上)

▲中央俱樂部發會式

本日中央俱樂部發會式を擧ぐ二三氏の演説あり頗る盛會なりし(同上)

▲佐々木侯爵の病状

肺炎にて一時危篤に陷りたる佐々木侯其の後の經過は少しく輕快に赴けり然し衰弱甚しければ恢復は覺束なかるべし

北京電報

▲親王西藏派遣

清政府は親王を西藏ラッサに送りラ、イラムに代り行政を執かしむべし(一日)

雜報

滿洲商界の不振

(英國巨商の苦闘)

左しも殷盛を極めたる滿洲大豆の歐洲輸出も擔四圓二十錢に奔騰したれば今や正しく關係貿易業者の膽を奪ひ殆んど賣の出づるを知らざるの窮境に陷らしめたり去秋大豆收穫に入るに先だち南北兩滿洲の收獲豫想は稀有の豐穰なりと云ふに一致し北滿洲の如きは前年の二倍に近しとさへ喧傳せられたれば清商と外商との先約値段は極めて安く二圓五十錢の約定すら汎く行はれたり是より先き上海のサミュル商會はジャーデン[illegible]して滿洲大豆貿易場裡に向つて驀進し來り斯業の開拓者たる三井物産と對抗して競爭を整ふると共に英國の注文をば端より引受け多々益商談を整ふるの勢なりしかば忽ちにしてサミュルは一手に十二萬噸の賣約を倫敦と結びジャーデンも七万噸近くの約定を遂げ了んぬ獨り三井物産は多年の經驗上滿洲清商の情況に通せし爲にや猥りに買進まず商戰開始の初期に於ては寧ろ逡巡の色ありしも歐洲市場は米國棉花凶作の結果として綿實の供給潤澤を缺けると南米リンシード不作なりしが爲製油原料玆に一大缺乏を告げしを動機として一齊に滿洲大豆を代用に供するの必要を生じ無二無三に買進み來り大豆愈昂騰に向へる比より著々約定を結び一時は三井の先約十萬噸に達したるものゝ如し然るに收穫の結果は意外の凶慊に陷り就中北滿洲最も甚だしく南滿洲すら平年作の二割減なると分明せしより豆價奔騰亦激騰滿洲の市場は一轉して險惡の狀を呈し曩に賣約せし清商の多くは賣主の英獨商に向つて引渡の履行を肯んせず言を左右に託して悟然風馬牛相關せざるものゝ如くなりき信用を尚ぶ倫敦商人に向つては清商の不德は固より契約解除の事由たるべくも非ずサミュル、ジャーデンの狼狽は殆んど言語に絶したるも積取滊船は些の猶豫なく續々大連に入津して空しく載貨を待つの離關に際し進退玆に谷りて値段の高下を問ふの遑なく三圓五十錢乃至四圓にて新たに大豆を買入れ辛くも發送したる額少からず此間に於ける三井物産の商略は一部を積出し一部は買戻しを行ひ比較的輕微の損傷の下に此旋風の渦中を脱し去れり而も今尚旋渦の中心に立ちて一縷の活路を啓かんとするはサミュルに外ならず元來倫敦のサミュルサミュルと東洋のサミュルとは各獨立の組織を有し日本のサミュルと香港同商會とは別に一會社を爲すも上海のサミュルは是亦別個の姉妹會社にして資本金三百万圓商號をサミュルマックレラしと呼ぶ上海隨一の商社たり然れども十萬噸の賣約大豆は是れ百六十六萬擔の巨額にして擔一圓の缺損とするも百六十七萬圓の損失を蒙らざるを得ざるなり其苦悶又察すべきなり

統監邸の晩餐會

二十八日午後七時より統監邸に於て晩餐會を開く、石塚長官は統監代理として同夫人と共に主人席に着き來賓として獨、露、英、米、佛の各總領事及同夫人大久保大將、明石參謀長、石井武官、各參與官同夫人、京仁理事官同夫人、津輕囑託同夫人にして石塚長官三鞭の杯を擧げて來賓の健康を祝し八時二十分宴を了へ同九時より更らに夜會を開きたるが舞踏、內外國の夫人連に對し福引の餘興あり立食の饗應ありて午前一時散會したるが來賓は各領事館員同夫人、宣敎師同夫人、其の他外人同夫人日本文武官の重なる者にして其數約百五十名(男百二十名、女三十名)なりと因みに馬清國總領事同夫人は病氣にて白耳義總領事は目下國喪中に就き缺席

在韓邦人の增加

統監府各理事廳の調査に係る一月末日現在の在韓日本人戸口を見るに戸數四萬一千〇六十五戸人口十四萬四千五百十一人なり之を前月末日に比すれば戸數に於て五千九百九十六戸を人口に於て一万八千七百十七人を增加せり今各理事廳管轄別を記すれば左の如し

京城	一二、六四九	四〇、六九九
仁川	三、五一〇	一二、八七九
群山	二、三七一	七、四五一
木浦	二、〇二三	六、六五五
馬山	二、三〇一	八、三〇六
釜山	七、三三七	二六、九七一
大邱	二、五三〇	八、二三九
元山	二、一五九	七、二八二
城津	一八四	五六〇
清津	二、〇一五	六、二三三
平壤	三、一一二	一〇、三四〇
鎭南浦	一、一一九	三、八二四
新義州	一、七五五	五、〇七二
合計	四三、〇六五	一四四、五一一

順川市場の其後

順川市場の騷擾に關し暴動の嫌疑者として其筋へ拘引せられたるもの今日迄總計九十六名に達したれるが當局者は檢擧の手を緩め昨今市場を開始せしむる事に力を致し、平壤警察署長は郡守と協議の末、良民の歸家市場開始についての告示文を發し又土地の有力者は七百餘圓を醵出して細民に貸與し二月十八日漸く開市したるが當日市場に集合せる者約四百名にて何れも財務官吏の徵稅に應じ總計三十八錢を徵收せり

統監不在と政務

曾禰統監東上以來行政事務の進行如何を疑ひ之を當局に質だせるに果して之に進はず些々たる小問題を除けば全部遲滯勝なりと現に參與官會議及地方行政關係委員會議の如き幾回鳩首凝議するも之を決す可き主腦者なき爲め徒らに茶飲話に終はり曾て要領を得たる事なく各參與官等は滿腔の經綸を施す能はずと痛嘆し居れり(電通)

土地調査と統監

韓國土地調査に關する官制及施行規則は過日來參與官會議の宿題となり居れるが大体に於て既に可決し詳細なる意見を付し東上中の統監へ具申せりと

●鄭雲復氏と新政派

大韓協會を除名されたる鄭雲復を中心として西北學會に籍を有する者は新たに政黨を組織すべしとのことは既報の如くなるが今其の後の消息を聞くに由來西北學會員の殆んど全部は政治を論議しつゝありたるも學會員にして政治に容喙するは學會令の許さゞる所なり而して遂きに宋秉畯が內相の椅子に在るの間之れが迫害を受けたる同會は一進會に反抗して宛然一政黨の觀ありたるも尚表面學會として其の體面を維持しつゝありたりしが早晩其の組織を變更するか或は新たに政黨を組織すべからざるべからざるの機運に際會したるの時偶々同會の黑幕鄭雲復の除名問題起り鄭及西北學會一派は大韓協會に對する憤懣の情に堪へず玆に對大韓協會策として新政黨を組織することゝなりしが結果多年の政敵たる一進會と提携すべき必要を認むるに至り先日同會の代表者李甲は清華亭に於て一進會長李容九を會見し種々意見を交換したるが其の結果愈新政黨組織の機運熟したるにて近々其の主義綱領を發表するに至るべしと云ふ

●宗教學校取締方針

韓國の私立學校は合計二千餘校にして此內外國人の經營せる宗敎學校八百餘校ある由なるが例の排日思想を鼓吹せる根源は此方面起るもの多きを以て其筋の取締方針に付き聞く處に依れば學部は昨年私立學校令を發布し是等凡ての私立學校は外國人の設立せる宗敎學校も此法令に依りて認可し居れる由にて敎科書は學部に於て編纂せしもの又は學部大臣の認可を得たるものに限ることゝ爲しつゝありて之れが取締の實行方法は地方郡衙に於ける學事擔任の主事憲兵又は警察官或ひは學部より臨時出張したる職員等其の衝に當り居れるが禁制し居れる敎科書を使用する者を發見し摘發せしもの少からずと云ふ

●免許漁業審查方針

昨年四月漁業法施行せられてより免許漁業の出願件數は昨年末までに六千一件あり此內昨年中に審査會に於て處分濟となりたるもの百四十餘件に過ぎずして本年一月以來更らに三百五十餘件の出願者あり農商工部に於ては兩三日中に審査會を開きて處分することに決定したるが從來は實地調査を經たるものに對しては受付日付の早きものを先づ處分したる傾向なりしも今や漁業の種類に依りては漁季の過迫したるものあれば此種の出願者に對しては實地調査結了後受付日付の如何に拘はらず處分を先にする方針なりと云ふ

●山林局の學理講習

農商工部山林局は林業行政の發表に資せん爲め所屬吏員をして學理の研鑽を怠らざらしめ且つ軍隊の例に傚するも平常間斷なき訓練は彼が如き進歩と活氣を示めす所以なるのみならず更に窮乏せる韓國の財政を最も有效ならしむるには學理と實際と併行するの外なしとて學術講習會なるものを起し昨一日より一箇月間毎朝一時間を割き柳田技師の森林植物學渡邊技師の發苗及造林學に就き隔日に講演を爲し講習生は試驗の上適材を適所に得て林務行政の進行を期す可しと

●補助貨流通と鑄造

韓國政府は來年度(日本の會計年度)に於て廿錢銀貨四十萬圓、十錢銀貨七十萬圓合計一百十万圓を鑄造することに決定し既に大阪造幣局に注文したる由にて來る九月迄には全部鑄造を終る筈なるが外に大形一錢と五厘銅貨九萬圓を本年中に改鑄すべく從來の葉錢及舊白銅貨の引上にて新貨の流通甚だ多く昨年中の流通總高三百萬圓なりしも近來は四百萬圓を流通するに至れり而して葉錢の引上總高は今日までに二百萬圓なりと云ふ

●財産整理局の戸迷

度支部所管臨時財産整理局の事業は既に完了したるを以て近來は例の大問題なる土地調査事業の準備に鞅掌し居れるが土地調査局の官制は先月中に發表し本月一日より同局を廢止し代つて調査局を新設する豫定なりしを以て整理局の豫算は二月までにて三月一日よりは豫算無き故臨時財産整理局なるものは空中樓閣として戸迷ひを爲しつゝあり頗る滑稽なりと云ふ

●密輸入取締巡邏船

關稅局に於ては西海岸の解氷と同時に清國方面より來る船舶の密輸入を防止する爲め龍岩浦に三艘、鎭南浦に二艘の巡邏船を配置し之れが取締に充つる筈なるが同船は從來電池作用に依りて航行し居りたるも今次米國より自動電氣發火器を輸入し機關の取替を爲したる由にて日本にも無き新式の機械也と

●測量技術員養成所

曩に度支部に於て測量技師を養成し來りたるが目下中絶の姿なるを以て土地整理事業を眼前に控へたる今日測量技師の拂底を感ずる事とてこの程學部にては測量技術員養成所を新設せんとの案を立て目下其調査中なりと云ふ

●韓官市場税を説く

去月十七日順川郡の觀察使は郡守と共に同地有力者及び面洞長等約四百名を召集し市場稅に關する一場の演說をなし地方費の効果を縷述したるが暴動以來物資供給の途を斷ち苦境に陷れる事とて一般に良好なる感動を與へたりと

●船舶法の閣議通過

曩て農商工部度支部兩部間に懸案中なりし韓國船舶法及び船舶檢查法の兩案は過日の參與官會議を通過し內閣へ廻付されしが愈々一昨二十八日の閣議に於て可決されたり就ては統監の承認を經たる上近々發布の運に到る可しと云ふ

●度支部官廳の統一

度支部所管諸官廳は關稅局を初め會計檢査院等各所に散在し事務統一上不便を感ずるを以て一所に集合せしむるの要あり追々同本部構內に所要建物を建增し移轉せしむるの運となるべしと

●太極教の取締方針

太極敎は各地に支部を設け朝鮮國敎となさんとの意氣込みなるがその敎義動もすれば頑迷不靈に陷り易く新學の勃興を阻害する事甚しきを以て當局者は相當の形式に於て之を取締る方針なり

●參與官會議の例會

昨一日午前十一時より參與官會議例會あり石塚長官の外荒井、木內、俵、小宮、松井、小松の各參與官中山書記官、岡本通信管理局長代理出席したりと

●豫備金支出の發表

左記豫備金支出の件閣議を經て上奏裁可あり一日の官報にて發表されたり

一金五萬圓 漢城衛生會補助
一金二萬圓 暴徒掃蕩費
一金七千四百四圓 郵便物警送費

●種牛と畜産課長

忠淸北道觀察道にて購入する種牛鑑定の爲平安南道出張中の原島畜産課長は要務の都合にて歸廳は明三日に延期せしが購入濟の種牛八頭は一日午前六時龍山に着せし筈

●韓國寫友會例會

來る六日の日曜を期し韓國寫友會にては例會を開く由なるが陽春三月の好時節にて作品も多數に昇り頗る盛大なる見込みなりと

●大韓毎日の押收

一日發行の大韓毎日申報千三百二十四號韓文八百一號は日韓合邦に關する東京電報を掲記したる廉により發賣頒布を禁止されたり

●理事官の送別會

信夫理事官の送別宴は岩崎和田兩氏の發起にて一日午後七時より鮮樓に開催せしが京城より三浦理事官も參加し頗る盛會なりしと

●民長視察報告會

岩崎民長の神戸濟視察要項報告會は明三日午後七時より民役所樓上に於て開かるゝ筈

關釜連絡新計畫

韓國度支部にて起工中の釜山稅關棧橋は來年四五月頃竣成する筈なるが右につきて鐵道院にては下關に鐵道棧橋を設けて連絡船を以て兩棧橋を連絡し以て關釜鐵道連絡の完成を期せんとて計畫する所ありしも陸軍側より關門要塞地帶海面に棧橋の如き突出せる工事を起すは軍事上不可なりとて反對ありしため計畫中止の姿なりしところ鐵道院にては是非共關釜連絡設備を完成するの目的を以て今回更に其設計法を變じて陸岸に沿ひて約三百間の繫船壁を設けて大船を橫附けし得る設計となし右連絡工事に要する工費は約五十万圓の巨額に上るを以て現時の鐵道院經濟の堪へ難き所なれども同連絡工事完成の上は減資消却をなして尚幾分の利益ある見込なれば近々豫算を編成して議院に附する筈なりと

●京龍合併説に就て

龍山の經濟研究會に於て京城龍山兩民團合併の決議を爲したる由なるが京城民團側の意見に依れば先年三浦理事官が斯説を提唱したるとき統監府へも京龍の民會へも豫め何等の交涉なかりし爲め單に三浦氏一個の私見なりとして何人も殆んど取合ふ者なく龍山民團は却つて反對したる程なりしが京城民團の膨脹するに從ひ兩民團の合併せらるべきは其當時より識者の間に認められたるも今俄に合併するときは京城民團は徒に負擔を增すのみにして合併に因りて毫も得る所なければ此邊は最も熟考せざる可からず故に合併せんとするには之を動機として民團債を起し有望なる事業を經營するを要す其事業の計畫せられざる間は合併は行れざるべし

●釜山税關の鑑定價

釜山稅關に於ては今度輸出入米穀に對し價格標準を左の如く變更したり

		從來鑑定價位	改正價位
上白米	百斤	三八〇錢	三七〇錢
玄上米	同	三四〇	三三〇
糯中白	同	四〇〇	三九〇
大豆	同	二八〇	三〇〇
大麥	同	一八〇	一九〇
小麥	同	三六〇	三七〇
胡麻	同	四八〇	四六〇
綠豆	同	二九〇	三〇〇
蕎麥	同	一八〇	一六〇
粟	同	三九〇	四〇〇
籾	同	二〇〇	一八〇
荏子	同	四一〇	四五〇

●郵船代理店の披露

郵船會社仁川支店閉鎖と共に代理店を設置せられし由は既報の如くなるが前支店長近藤氏及び代理店主任堀氏は來る六日午後六時八阪樓に重なる官民を招待して披露宴を催ふす筈なり

●菊池局長南韓視察

農商工部商工局長菊池武一氏は來る八日仁川港出帆南韓地方視察の途に就くゝ計畫あり道程日割等は未だ確定せず或は釜山より全州に出で南方より逐次視察するに變更あるやも計られずと

●商業夜學校擴張説

仁川私立敎育衛生會附屬商業夜學校は漸次生徒增加すると共に規模を擴大するの必要に迫りしかば今回民團立たらしむるの議起り二日午後民役所に於て右に關する評議員會を開く筈なり

●開城韓銀支店引繼

開城に於ける韓國銀行支店を廢し同所在農工銀行に事務代辦せしむる事は既報の如くなるが關引繼の爲め度支部阿部事務官は昨一日開城に出張したり

●柞蠶會社株主募集

去月認可を得たる韓國柞蠶株式會社は目下株主の募集中なるが資本總額は十萬圓にして之れを五千株に分ち壹株金二十圓なるが第一回支拂金五圓なりと

●新任法學校教授 法學校敎授に任ぜられたる法學士加古貞太郎氏は昨一日夜着京浦尾旅館に投宿したり

●水間寧明氏入京 平壤憲兵分隊長の同氏は二十八日入京浦尾旅館に投宿

●市原晴雄氏退京 大阪商船鎭南浦支店長の同氏は二十八日歸任せりと云

●小林技師の來京 日本銀行技師小林欽氏二十八日來京天眞樓に投宿せり

龍山通信

(一日 支局報)

陸軍省に於て來る十一日より約十日間の豫定にて獸醫部長會議開會に付き當軍司令部よりは獸醫部長加藤二等獸醫正三日龍山發東上すべし▲平壤[illegible]課長岡村初之助氏は一昨午後二時五十分平壤發列車にて石川技師、河內技師同伴來龍▲龍山民團にては過日來四十三年度豫算編製中なりしが最早結了したるを以て上旬中には民會開會する運びの由なるが其總豫算は五萬九千百五十三圓にして內經常費五萬二千八百六十五圓臨時費六千二百八十八圓なり

▲治外法權▼

▲統監不在の爲め政務進捗せず、參與官會議も徒らに茶話しに終るとは異か、總務長官や、副統監の新任說もホンノ風說に過ぎず、而して曾禰子の病狀重いは事實らしい何んとか我政府も方法のありそうなものだ▲順川は暴動後觀察使や郡守其他日韓官憲の盡力に依つて再び開市し圓滿に徵稅を遂行したと云つて一同大喜び、而して其徵稅額は驚くなかれタッタ三十八錢▲慶北地方にては來年度より結婚稅を徵收せらるべしとて本年中に結婚を急ぐ者多く安東郡にて一時に三十四名、禮安郡にて六七名あり、そして言分が面白い『地方費とか云ふものを徵收せられ今又結婚稅を取られるのだ此上はどんな稅を取られるかも知れぬ』と言觸らすので警察官等は其無根なる事を說き廻はつて居るそうだ▲花柳社會に不見轉と云ふ語が流行せる事は古いものだが、是れは餘り古いと云ふので近頃は大にハイカラとなりフランテルと云ふ語が流行するそうだ、意味は讀んだ通り▲鄭雲復は大韓協會を除名された爲め西北人を糾合して新政黨を組織せんと昨今大に奔走中だが、之を例の一進會が抱き込まんと企て居ると言觸らす者がある、溫突から匍出て色々な運動が初まるも道理昨今は大分温かくなつた。

散髪清人の俠氣(五)

無分別の戀の迷が……實せし此苦悶憂悶……只可憐なるは小女等

『何を爲すかッ』と立向ふ花田が横面を強か打据ゑて『貴様の様な人畜に物を言ふも口の汚れだ、歸れッ』と云ふより襟髪攫みしまゝ扉の外に突き出して錠止め扉を閉て切りつ出されし花田は何事か罵りつゝありしが叶はぬと觀念せしか其儘立去りたる模様なるより甲も漸く席に戻りしが先刻よりの有様を見て呆れて居たりし親子の者は其の顔見るより『泣く困りましたね、漸くあらんとは怎うしませう』と許り取縋りて忍び[illegible]甲も氣の毒さし[illegible]果せる哉花田が今の無法なる事假令母親れ娘に奈何ほどの愛情ある共彼の男を父として侍くれ雪の苦勞は奈何ばかりならん[illegible]共々に憂き事の數々を甞むるに至るべし斯く不本意なれど此の上は再び少女を連れ歸るより外はあるまじ[illegible]無慘なる次第なれど我と心に問ひ答ふ『ねね崎さん兎に角雪さんは一先づ連れて歸りませう』と思ひ切つて云ひ出せば『だつて妾は……』と娘を引寄せ犇と抱く頰から頰に涙は溢れ『併し御承知の今の有様ですよ、よし貴女が引取ると云つても彼の鬼の様な男が此の娘に父とは云はせたくない』『ぢや妾は何うしたら可いでせうか』と此崎は唯々[illegible]出來る筈でもなく又私にしても[illegible]る許りです、で此の際私が貴女に悔みる處はない貴女は貴女の身を捨身を擲ちて『怎う云へば何だか私が無情の様にもありますが是れも貴女の了見違ひから生じた天の罰で[illegible]言ひ聞かせて置くのは……彼の男と斷然手を切つて了ひなさい花田と別れなさい、彼の男が貴女の傍に居る間は到底貴女には眞人間になる事は出來ません其の後の貴女の額は及ばずながら此の甲が引受けませう』と情と理の明かなる甲の話しを聞いて云ふべき言葉もなく我が娘の顔を眺めては『一入涙に暮るゝのみ、時は既に十二時を過ぎたりけ外の通りも人足絶えて唯電燈の光のみ青白う顔を照らす『最う遅いやうですから別れを[illegible]滯在してゐるから何れ其の内……』『はい……』『一緒に出ませう私も是れから宿に歸らねばなりません』漸くに三人は同時に此客の門を出で思ひく心して寂しき巷を辿るなりき。

安の母發狂す

▽安の實母と宣教師の[illegible]

伊藤公暗殺者安重根の母は二人の娘と共に旅順の佛國教會に於て公判判決の宣告を聞き少しく精神に異狀を呈するものゝ如く伊藤公は多數の韓人を殺害したるに安が一人の伊藤公を殺害したりとて何等の罪かあらんと絶叫慟哭し[illegible]日本裁判所は外國辯護人の辯護を却下し[illegible]極まれりと因に安の實母の[illegible]黄海道信川の宣教師[illegible]氏が支出し現に去十五日も二百圓送り來りしと謂れる由

清正部將の孫(一)

▽能勢理事官の探勝

[illegible]

珍聞の珍聞

[illegible]

仁川兇賊後聞

▽愈々出で愈々蛇蠍

仁川の諸所方々を荒せし近來の大賊畑鶴之助(三)が其筋の手に逮捕せられたる由は既報の通りなるが其後同署刑事は極力犯跡の捜索に努むると共に本人を厳しく取調べ居れるが愈々出で愈々驚くべき程の犯罪あり昨年來竊盜となり居たる市中の窃盜事件は之れに依りて全部解決したりと云ふも過言にあらず今直に其の罪狀を報じたしと雖も其筋の取調上妨げとなるを以て漸次詳報する處あらんが刑事室には右畑の窃取せし女長襦袢を初め衣類數十點其他短銃時計等の贓品山をなすの有様なり

興海郡沖に鯨

▽洞民均等に分配す

去月二十二日慶北慶州興海郡北下面東海岸に長さ六間の鯨價格八十圓位のもの漂着したるにぞ洞民一同協力して之を捕獲し均等に分配したりさなり捕鯨船に傷けられて逃れ來りし者か夫れ共弱り果てし結果洞民に捕へられしか詳細は接報せん

●政子の膏藥三粒折り

▽車から落ちて病床

井門本店の政子と云へば中券は愚か先づ京城での流つ妓藝に掛けては立ち向ふ者もないと云ふ位其の政子拍子兩三日前より病床に横はつて頻りに嘆息の聲を發し居るとの事に怎うした事で左うした事かと探つて見れば氣の毒千萬去る廿七日の夜旭町の蝶々より政子に權助と名指し招聘の懸りしよりサア來れ座敷もれ了けとなつた歸るさの事權助は客の供とわつて自分一人が二人分二挺の三絃を兩手に抱ね『サア車やさん』と調子者で驅け出したるが本町通りもガラ／＼の商業會議所通り菊牡丹の前に蒐るや呀やと云ふ間もならばこそ車は横に轉倒し車上の政子は横樣に轉かり落ち抱ねし三味に脾腹を打ち二挺の三味も折つて了ひ尚他に顔肋等數箇所の傷を蒙りて左ればこそ臥床藥用中とは御愁傷千萬

●ぽんたの思惑違ひ

▽元は仁川淺岡町奴

元仁川淺岡にて腕を鳴らせし町奴と云はゞ知る人ぞ知る切れ者なりしが兎角借金蹈倒し主義を實行する爲め人氣を落し身を崩し遂には當地新町月下樓にて其名もぽんたと改めて抱ね女郎と迄成下りたるが持つた性根は何うしても納まらず又しても同樓にて渓商賣中淸遊樓の板場某と乳繰合ひし其の果ては例の手段でドロンを極め込み去る賭徒の宅に潜み居たるが元々ぽんたは前記板場を踏臺に身抜きの心底情夫此又ぽんたを囮に某かの金を鬻占んで了見なればぽんたをば隠し置きながら賭徒を使ひに遣はして月下樓より二百圓の金員を引出さんと運動中遂に其の筋の聞く處となつてぽんたは南署へ召喚され手嚴しき説諭を頂戴して愁々署門を出る姿は見るも淺ましき體なりしと鯨鯢も老ゆれば何とやらぽんた君少し確りしたが可からう

●中券番席順

中券番二月中の成績は左記の如くにして今回は淸華亭第一位を占め先月の勢ひにも似ず花月の比較的振はざるは一月の宴會多かりし割に二月の反動を受けし爲めにして淸華亭の沈殁客が今回成績の素因ならん

一番政菊(淸)二番秀子(掬)三番一駒(淸)四番丸子(淸)五番たみ(花)六番今奴(淸)七番玉吉(淸)八番れ多福(淸)九番靜子(掬)十番花奴(花)十一番一奴(淸)十二番大助(淸)十三番君江(花)十四番若龍(淸)十五番梅子(淸)

●龍山の猖紅熱

龍山鐵道官舍九十二號三戶住齊沼貞次(十一)は去る廿七日猖紅熱に罹り今村醫師の診察を受け三月一日郷内避病舍に收容せらる

●ぼや／＼牛燒

仁川萬石洞居住の淸人農某方より昨日午前九時出火せしも附近の人々馳け附け牛燒にて消止めたるが原因は溫突より失火せしなりと

●自轉車泥の捕縛

仁川牛角洞居住の金孝成(二〇)と云ふは去月廿一日本町四丁目渡邊消吉所有の自轉車一輛を窃取し之れを平洞の築山方に金八圓にて入質し一昨日京町なる韓人飲食店にて遊興中其筋の手に御用の聲と諸共に捕へられ本署に引致さる

●窃んだ者を拾得

仁川府内面沙洞居住の黄廣石(一七)と云ふ韓童は仁川新町二丁目古津元次郎方に奉公中去月廿六日韓貨十三圓入りの箱を窃取し之れを實父季圭三に街路にて拾得せしものなりと詐りて與へたる事實を探知せしかば一昨日其筋に引致せられたり

演藝

▲歌舞伎座　同座にては昨日より『三日月れ六』を三日間に亘る續き狂言として二十九場三十六段返し幕なし大道具大仕掛にて演ずる由なるが其の役割は左の如し

爲の者長吉、宮無留の新龍(田宮)魚屋新助、藥種問屋木田幸平(鍋村)小柴太夫、按摩芳の市(田中)妓夫仙吉、車夫權五郎(五味)刑事川口六造、深見幽齋(泉)女賊れ若(本田)惡漢蛇の權次、深見正一(吉井)ジョンブラヲン、百姓五作(角村)此糸太夫、藝妓三代治、支那人金高林(堀江)三日月れ六(小泉)

▲高等演藝館　同館にては月々プログラムを取替ゆる筈なりしかば昨一日より左の如く變更して不相變開館する由なり時間は午後六時開場七時開會の筈

●浮屋の水藝滑稽●教育參考大理石運搬●蜂蜜ダンス及蝶取着色●電氣應用韓國妓生踊●自轉車の失敗滑稽●東京歌舞伎若手俳優れ擬勸ヶ花嫁の運路●慈悲の裁判悲劇●犬の臺●體育參考倫敦端船競走會●世界探偵團遊長尺物●風船玉の行衛滑稽●玉子の踊着色●餘興帳骨二人踊

▲京城座　同座本晩の替り狂言は『三人片輪』全十場の通し物其の役割の重なる者は

松の森弟松吉(伊井蓉)乞食八助(花井房雄)秋月雪夫(桂木)秋月妻繁子(金澤)刑事戸田俊(川崎)力士森の森(眞部)あんま新一(秋岡)吉澤曾長(奥崎)乞食長洲(光田)陸軍大尉秋月明(瀬川)秋月初子(小役中村時子)

▲壽座　同座にて三月一日より開演なせし佐々木一郎は嘗て京城地方の大劇場にて實服專門にて好評を博し居たりし優なるが二日目本晩の替狂言は本年の勅題(新年の雪)と題し其重なる役割左の如し

大工吉五郎(本田嘉一)令孃千枝子(原島秀夫)惡漢れ京(島津秀峯)車夫吾介(日比野欣次郎)森山義安(小泉賢祐)醫師澤口(菊地薫)家扶本間(村尾實)夫人敏子　敏島政男　侍女れ榮(二宮太郎)愛妾若枝(高井直二郎)園部義明(佐々木一郎)

新町女郎公判(三)

▽井門支店女郎の訴訟

豫告の如く妻枝對幸子に關する公判は本日午前九時より本社滑稽裁判所に於て開廷する事となれり是が公判を傍聽せんとて詰寄する原被兩人の贔負連は早朝より本社に押寄せ開廷時刻には既に立錐の餘地もなきに至り是が喧噪鎭定の任に當れる押丁のヨボ君は些から聲を嗄らしたるが如し軈て定刻となるや先づ本社裁判長着席、徐に原被兩人及び代理人を促して出廷せしむ

先づ原告妻枝はれ召の着物に羅珍の丸帶、水色縮緬の三ッ紋羽織と云ふ仕度手には桃色のハンケチを捻繰りながら滿面に笑を湛ねて出廷す被告幸子も同じ着物に黑縮緬の三ッ紋白ハンケチを手にしながら是も花恥しき薄化粧にパイヲレットを香はせつゝ、髪は元より庇髪勿論妻枝に至つては所謂江戸式小意氣な云々其者たるや云ふ迄もなし、茲に兩原被代人の女辯護士濱次、月枝の兩人も各自の席に着するや一同の傍聽人は皆か私語低聲で始め押丁の聽に接實に違なし。

裁判長はやをら原告に向ひ

『其方は韓國京城新町井門支店の抱ね女郎妻枝事本名鈴原せつに相違ないか』

原『ハイ、相違ありません』

裁判長は些度口邊を拭ふ、すると傍聽席で『威嚴がない』と囁く者がある、今度は被告に向ひ

『其方は原告と同居せる幸子事佐原けいに相違ないか』

被『ハイ左樣でムいます』

是より公判開廷の宣告あるや先づ原告の訴訟代理人濱次女郎は水色縮緬の襟出しを密と返し渓商賣柄傍聽席に笑顔を振撒きながら起立、徐ろに口を開き

『抑も本件の訴訟に關する内樣は本辯護人の贅説する迄もなく既に提出されたる理由書に依て明かなる處であります左れば是れが根本の解決問題は唯被告が原告を事實中傷なしたりや否やが第一の爭點でありますから此の爭點の是非を明かにするが根本の要點であらうと想ひますから本辯護人は此の要點に付て聊か辯論を試みませう

想ふに被告か原告を中傷したる事實を證明するに大なる力ある者は第三號證として提出したる被告の直筆書であつて此はまさしく被告が情夫某へ差出さんとせる者を密かに證據として拾ひ取り置きし書狀であつて此の書狀と被告の筆跡とは同筆である事は裁判長の烱眼之を觀破せられた事であらうと思ひます又原告の同輩駒龍、筆子等の證言に據ると被告は毎々原告の人氣澤山なるを見て之を妬み密に奸手段を用ひて是が中傷を謀り居たりと云へば四圍の情實上被告の行爲たるは疑ひなき事であります尚は損害賠償の件に就ても第三號證花山帳の證明する如く僅かに客足の落ちし日附等より公明なる審査判斷を願ひたし追て本辯護人は被告代理人の答辯を聞いて辯駁を試みませう』

讀者に斷つてれくが當法廷は裁判所を以て專門となす者に非ず衆業として或る種の編輯をも兼ねるを以てさうさう公判にのみ時間を供給し能はず今や衆業の編輯時間も迫れる爲め被告の答辯は明日開廷なす事とす

●天氣豫報

(自一日午後六時至二日午後六時)

北の風曇

廿八日(華氏)　最高溫度　四五、一　最低溫度　二三、五

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●望 上女中 十五六歳の女子高等官舎上女中見習たし俸給望まゞ 氏名在社(八

●店員雇入 十四五歳の者希望者來談あれ日の出町下山商行(電一〇〇七)

●小供入用 但十五歳以下至急入用 龍山元町三 日韓組米店(電三四三)

物件部

●貸家 西大門内佛國領事館隣六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 同所清水方へ

●電話譲渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 賛化堂藥店

●貸家 平家一戸建間數四間及長家一戸間數三間場所南大門外吉野町

●瓦葺平家 建坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし 電話七四番へ

●求貸家 水樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温実ならは最佳 氏名在社

●繪葉書讓渡 日韓未使用紀念繪葉書安價讓渡たし 氏名在社(九)

廣告

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

入院随意
京城壽町三丁目(電話三二七八番)
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

●●滋養と牛乳●●
純良
牛乳
京城東四軒町
岡野牧塲
電話壹〇六九番
馬車配達
●●衛生と消毒●●

入院随意
内科 外科
小兒病
梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

胃腸新藥
メカヂアスターゼ
韓國總代理店
仁川本町二丁目(電話八五〇番
竹田津三平

營業科目
韓官衙御用品調達
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

委託販賣
東京 ランバーゾ商會代理店
東京 中外アスフアルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約

藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目十番地電新橋三六九二

紙と印刷
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

諸荒物世帯道具一切
其他和洋蠟燭
アサヒ サッポロ ビール 精白米
右大勉強仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
京城本町六丁目
日用雜貨 卸問屋
西崎嘉七本店
電話二一〇番(ニカ)
振替貯金口座韓七番

京城明治町二丁目(佛國教會前)
辯護士 特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

▲東京人形
●一個定價十錢より壹圓迄
五百個限り
本店東京
京城大和町二丁目(日の出橋際)

東京足袋
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
(電話六十五番)

京城和生町(南門湯横)
神戸資生分院
京城梅毒病院
◎花柳病専門並、痔(注射療法)
●入院随意●
(電話一二九四)
院長 醫學得業士 廣田鉄平

貨物運送取扱
稅關貨物取扱
貨物引換證發行
危險擔保附運送
品代金付貨物運送

内國通運株式會社
京城南大門驛前 京城支店 電話一七九番 電話七〇八番
仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番
草梁驛前 釜山驛前 釜山出張所 電話五一六番 電話六三七番
龍山驛構内 龍山出張所 電話二〇六番

特約販賣
味噌醤油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
自製
和洋酒、(マル)精酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、塩辛、日本食鹽各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
(電話四百十三番)

胃腸消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン
蛋白脂消化肪 ヂゲスチン
錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢
散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢
錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢
散錠一オンス入(一瓶)二圓四十錢
右は最近内地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絶品にして所謂賣藥には無之候各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通
大島專藏

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町一丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番

御待合
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候
京城南大門通三丁目光宣門側
紅葉
電話一三八二番

改修落成と電話開通
久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御最負の程願ます
京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る)
待合 醉月
電話二六五番

外科 内科
梅毒痳病專門
●入院随意
●京城御成町南大門外一丁目
●電話番號九三八番
戸田病院

蒸氣消毒
牛乳
京城大和町一丁目
平山牧場
電話一三三

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ッ角
卸問屋
唐川商店
電話二六一番

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村按子
(數そば横町)電話[illegible]番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行 京城支店
(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

★株式會社 百三十銀行 韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野
東海道 住吉、茨木、下市、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、高山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、柄、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、普通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、君松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、梭藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
仁川電話十番
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
電話三九番
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行
山東丸 三月十三日後三時出
●大連、太沽牛莊行
高砂丸 三月十九日正午時出
●大連、太沽行
山東丸 三月 二日午前六時出
●大連太沽行
酒田丸 三月 五日正午時出
●釜山出帆 元山、浦津、浦鹽行
立神丸 三月 九日午 後時出
御注 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ス